

会社名 EIZO株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 恵比寿 正樹
(コード番号 6737 東証プライム)
問い合わせ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬
電話番号 076(275)4121

新技術棟竣工のお知らせ

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長 COO:恵比寿 正樹)は、このたび、本社敷地内に建設を進めてきました新技術棟が竣工の運びとなりましたのでお知らせします。

新技術棟は、映像機器関連事業の将来成長を見据え、十分な延床面積を確保するとともに、サステナビリティ推進の観点から、積極的な環境対応を行いました。新技術棟を中心に、コアとなる製品・システムの開発および顧客対応力を強化し、更なるビジネスモデルの強化に取り組んでまいります。

1. 新技術棟の効果

新技術棟の竣工により石川県白山市の本社敷地内のフロアスペースが22%拡張し、今後ますます高度化、多様化する製品・システム開発、顧客対応に必要な人員増に十分対応できるスペースを確保しました。

新技術棟には技術部門を集約、開発・技術・企画・営業部門が集結し技術検証を行うテクニカルセンター、顧客・取引先・グループ会社社員等向けの各種イベントの開催に活用できる多目的ホールを設けました。これらの施設の有効活用により、市場・顧客への提案力の強化と課題解決のスピードアップを図ります。さらに、拡張スペースを有効活用し、既存棟も含めた社内全体のレイアウト、職場環境の改善を行い、創造性・生産性の向上、従業員エンゲージメントの向上、人材採用力の強化を図ります。

2. サステナビリティへの取り組み

新技術棟は、断熱構造の外壁・窓、省エネ性能に優れた空調・照明設備等を導入し、最先端の環境規格であるZEB規格を満たす仕様で建設しました。当社の「低炭素移行計画 -Transition to Net Zero-」に基づく、既存棟の改修、設備更新の完了後に、敷地内の建物全体でのZEB規格の認証取得を計画しています。

屋上には年間発電量17万kWhの太陽光発電設備を設置しました。この設備の稼働により、敷地内の太陽光発電設備の年間発電量は現状の約110万kWh(FIT固定価格買取制度による売電分を含む)となり、敷地内の年間使用電力の約23%を賄うことができるようになりました。

なお、当社は2024年1月より、国内全生産拠点における使用電力を100%再生可能エネルギーに切替え、GHG排出量の削減に取り組んでおります。

▼参考:ニュースリリース「再生可能エネルギーを国内全生産拠点に100%導入」(2023年12月9日)

<https://www.eizo.co.jp/company/news/2023/NR23-GA013.pdf>

3. 新社屋・施設の概要

- 所在地: 石川県白山市下柏野町153番地
- 建屋概要: 延床面積 約 12,928 m² 鉄骨地上 6 階建
- 主な用途: 技術・開発・営業・テクニカルセンター・多目的ホールなど
- 稼働開始: 2025 年 5 月
- 投資金額: 約 52 億円

【外観】



【フロアイメージ】



【多目的ホール】



以上